

ECFA 開発プロジェクト財務・経済分析 ワークショップ

(中級編 PPP 財務分析・支払意志額・国民経済へのインパクト)

概要

途上国開発プロジェクトの投資妥当性分析 (Feasibility Analysis) とは、「資金・人材・技術など限られた資源 (希少資源) の投入 (費用) に見合う結果 (便益) がどの程度得られるか?」、また「リスクをどのように分類・計量すべきか」という優れた定量的な問題に答える為の考え方 (分析枠組み) と手法です。この基本的な命題から今日では多くの応用分野が開発現場で拡大されていることから、今回の研修は「中級編」としてこれまでの ECFA 研修「基礎・実務編」を踏まえながら、特に官民連携 (PPP) 案件の投資収益率分析 (Equity IRR)、生命・環境・教育等「非貿易財サービス」の経済便益推定手法としての「支払意志額 (WTP)」の理論並びに分析手法、及び実践プロセスの習熟を『応用編』として取り扱います。また IRR 分析と並列して鉄道・道路・発電事業など国民・地域経済に広く裨益するプロジェクトの「経済波及効果の測定」について、理論編及び EXCEL テンプレートによるより高度な演習を学びます。ただし、今回学ぶ課題・分野では優良事例の蓄積・議論が少ないことから、この研修は参加者皆さんの経験・抱える課題等の共有化を図りながら、今後のより質の高いコンサルタント業務・また JICA 等援助諸機関との建設的協議を可能にする一助となることを目的としています。

目標

- 1) 開発プロジェクトの財務・経済分析の概論・演習を復習し、より明確な理解と実践力・応用力を身に付ける。
- 2) 官民連携 (PPP) プロジェクトの実施スキーム概括とともに、従来のプロジェクト財務分析 (FIRR) と手法的に異なる投下資本収益率 (Equity IRR) 分析の枠組みを、財務諸表分析 (損益計算書) ・債務返済計画策定の学びと演習を通じて理解する。
- 3) 非貿易可能財・サービス経済便益の直接的推定手法である「支払意志額」の理論的背景とともに、推定手順と演習を通じて習熟する。
- 4) プロジェクトそのものの投資妥当性 (FIRR/EIRR/Equity IRR 分析) に加え、投資による国民・地域への経済波及効果 (生産・雇用を含む追加的な国内最終需要) の推定手法を投入産出分析により学び、演習により実践的手順の習熟と理論の再確認を行う。
- 5) 道路・鉄道・教育分野など国境価格・支払意志額による経済便益推定法以外の手法について、他諸分野に適用される経済便益個別項目の整理・理解とともに学ぶ。
- 6) 研修を通じて自由闊達な議論と参加を通じて、開発コンサルタントの仲間として共通する課題や将来展望を共有する機会とする。

開催概要

日時：平成 29 年 11 月 29 日 (水) 10:00 - 17:30

平成 29 年 11 月 30 日 (木) 10:00 - 16:00

平成 29 年 12 月 1 日 (金) 10:00 - 17:30

場所：ECFA 会議室 (東京都港区西新橋 1-6-13 虎ノ門吉荒ビル 7F)

対象：途上国開発の公的支援 (ODA) に係るコンサルティング企業 (ECFA 会員企業および非会員企業等) に所属されている方で、これまでに ODA プロジェクトで財務経済分析を 5 回以上経験されたことのある方 (ECFA で実施されている「開発プロジェクト財務・経済分析 ワークショップ (基礎・実務編)」修了者は、2 回以上経験されたことのある方)。なお、実習では受講者による基本的なエクセル操作の理解・関数分析の理解を前提として進行する予定にあり、参加にあたってはこの点に御留意下さい。

定員：15 名 ※定員を越えた際は、会員企業の参加希望者を優先させていただきます。

受講料：<ECFA 会員> 45,000 円 <一般> 80,000 円 ※研修費・教材費・消費税込

カリキュラム

研修は事前配布資料を踏まえながらパワーポイントによる解説を行います。IRR 分析・PPP 財務・支払意志額・地域国民経済への波及効果推定の各課題について、理論的背景・推定手順等の説明とともに EXCEL テンプレートを用いた演習・実践による知識の確認と習熟を図ります。

| | 時間 | セッション | 個別課題 |
|-------------|---------------|--|--|
| 1 日 目 | 10:00 - 11:15 | <第 1 セッション> 1. 研修内容の確認と合意 2. 財務経済 IRR 分析の復習 3. 事例演習 (I) (基礎実務編の復習) | ① 個別テーマ・時間配分等に関する希望・意見調整と合意 ② IRR 分析の考え方と推定手順 ③ FIIRR/ EIRR 分析実務 (灌漑分野) |
| | 11:30 - 13:00 | <第 2 セッション> 1. IRR 分析事例演習 (II) | ① FIIRR/ EIRR 分析実務 (灌漑分野) ② 感度分析 (2 変数同時シミュレーション) ③ 質疑応答・コメント |
| | 13:45 - 15:00 | <第 3 セッション> 1. PPP 財務分析枠組み 2. PPP 財務分析の事例演習 (I) 3. 質疑応答・意見交換 | ① PPP スキーム ② Equity IRR の枠組み ③ PPP 財務モデリング (EXCEL ファイル) ④ 会計分析 (財務諸表) |
| | 15:15 - 17:00 | <第 4 セッション> 1. PPP 財務分析の事例演習 (II) 2. 質疑応答・意見交換 | ① 会計分析 (損益計算書) ② 債務返済計画 (演習) ③ 支払意志額の理論的背景 (ミクロ経済学) ④ 支払意志額推定手順 |
| 2 日 目 | 10:00 - 11:15 | <第 1 セッション> 1. PPP 財務分析の事例演習 (III) 2. 質疑応答・意見交換 | ① 聞き取り調査票の構成 ② Equity IRR の推定 (演習) ③ Cut-off rate (WACC) ④ リスク分析 (カントリーリスクと国債格付け他) |
| | 11:30 - 13:00 | <第 2 セッション> 1. 分野別経済便益推定手法 2. 支払意志額の枠組み | ① 分野別経済便益推定手法 (教科書第 4 章復習 - 道路他運輸・教育案件) ② 支払意志額の理論的背景 (ミクロ経済学) |
| | 13:15 - 15:30 | <第 3 セッション> 1. 支払意志額 演習(I) | ① 推定モデルと手順 ② 簡便な支払意志額推定演習 - 回帰分析による需要関数推定 ③ 事例演習 (上水道) |
| 3 日 目 | 10:00 - 11:15 | <第 1 セッション> 1. 2. 地域国民経済への波及効果 3. 投入産出分析・統合投入産出表 4. 投入産出分析 (I) 演習 | ① 事例演習 (続き) ・その他経済便益推定手法 (水力発電-代替火力法) ② 投入産出分析とレオンティエフ逆行列 ③ 取引基本表・投入産出係数表・輸入係数表・単位行列・逆行列表 ④ 統合投入産出表と影響力・感応度 ⑤ 演習 (統合 7 部門表) 準備 |
| | 11:30 - 13:00 | <第 2 セッション> 1. 支払意志額 演習 | ① 取引基本表・投入産出係数表・輸入係数表・単位行列・逆行列表 (EXCEL) ② ネパール統合 7 分野投入産出分析 |
| | 13:45 - 15:30 | <第 3 セッション> 1. 投入産出分析-演習 (III) 2. 政策的含意 | ① ブータン統合 7 分野投入産出分析 |

| | | |
|---------------|--|---|
| 15:45 - 17:15 | <第 4 セッション> ① 地域国民経済・投入産出分析 概論 ② LPMC 価格法・ ③ 価格分析・貧困分析 ④ 3 日間の総括質問・意見交換 | ① 戦略的成長優先分野の特定と中長期開発計画作成手法-絵に描いた餅と実証分析 ② 取引基本表・投入産出係数表・輸入係数表・単位行列・逆行列表 (EXCEL) ③ 影響力・感応度係数マトリックスと政策的含意・投入産出分析の課題と限界 ④ 経済便益不明の場合の EIRR 推定手法 ⑤ 公共事業料金設定と社会的厚生 |
| 17:15 - 17:30 | アンケート記入, 修了証授与及び閉講あいさつ | |

※プログラムは受講者の理解・要望等により、多少の変更があります。また、進捗状況により研修時間が前後する可能性があります。予めご了承ください。

※昼休憩は 1 時間、その他の休憩は 90 分に 1 回を目処に取らせていただきます。

※昼食時に食事をしながら、講師・参加者の方々による質問・意見交換なども歓迎します。

※長時間の研修となりますので、リラックスした服装でお越し下さい。

※演習の効率性から、2 日目の座学は早めに終了します。参加者の方々は自宅等で、復習と課題を進めて下さい。

※受講者の方には、後日フォローアップのアンケートを行わせていただくことがございます。ご協力をお願いいたします。

講師紹介

(有) コンサルティングハウス ミネルヴァのふくろう 代表 尾崎 隆夫

一橋大学経済学部・ポストン大学経済学研究科・東京大学医学系研究科博士課程
修了、学位申請資格

1978-84 年 (社) 海外コンサルティング企業協会 (ECFA) 勤務

1984-89 年 中小企業事業団・海外経済協力基金 (OECF) 出向

1989-93 年 アジア開発銀行勤務 (エネルギー・鉱工業局局長室エコノミスト)

1993-現在 (有) コンサルティングハウス ミネルヴァのふくろう (代表)

専門は、マクロ経済・公共財政管理・プロジェクト分析など。これまで、国際協力銀行、国際協力機構、アジア開発銀行などのプログラム・プロジェクトの財務・経済分析に関する融資・コンサルティング業務および JICA 研修・大学等で講師を多数経験している。



お申込み方法

受講申込用紙 (<http://www.ecfa.or.jp/japanese/hrd/index.htm>) に必要事項をご記入の上、E メール (kono@ecfa.or.jp) にて締切日までにお申込み下さい。なお、本研修は、講師の急な予定変更などにより中止をせざるを得ない状況が生じた場合、実施予定人数に満たない場合は、開催を中止させていただきますのでご了承ください。中止決定の際は、すみやかにお知らせし、受講料はお返し致します。

お問合せ・お申込先

一般社団法人海外コンサルタンツ協会 担当：河野 (こうの)

TEL : 03-3593-1171 E-mail : kono@ecfa.or.jp

締切 : 2017 年 11 月 20 日 (月) 17 : 00

※受講の可否についてはお申込み締切後、応募者全員に E メールにて連絡いたします。

※受講決定者には請求書を送付致します。受講料は、請求書に記載の期日までに銀行振込にてお支払い下さい。なお、一旦納入されました受講料は返金いたしかねますので、ご了承ください。

※1 社より複数お申込み頂く場合には、社内にてお取り纏めの上、受講優先順位をつけて下さい。

※定員を上回った場合は締切日より早く受付を終了しますので、お早目にご応募をお願いいたします。

※個人情報の取り扱いについて

提出いただいた「申込書兼履歴書」の個人情報は、本研修のみに使用し、これ以外の目的には使用しません。また、漏洩することのないよう厳重に管理致します。